

1 天妃宮・天尊廟

天妃宮には航海安全を守る女神が、天尊廟には現世の悪を絶滅させて民衆を救う神が祀られています。ともに道教の神様です。



2 波上宮

波上宮は琉球八社の最上位にある神社で、熊野権現を祀っています。14世紀頃の創建で、古くから厚い信仰を集めています。



3 護国寺

護国寺は真言宗の寺院で、波上宮に隣接しています。14世紀頃に創建されており、琉球王国時代には国王も参拝した古刹です。



4 ベッテルハイム居住之跡碑

ベッテルハイムは英国から派遣されたプロテスタント宣教師です。1846年から8年間滞在し、布教や医療活動を行いました。



5 三文珠公園

王国時代の三賢人が国の将来などを、ここで論じたという伝説から「三文珠」と呼ばれています。現在は公園になっています。



6 久米村大道

久米村の中央部を走るのが久米村大道です。かつては龍の胴体にたとえられた神聖な道でした。現在は県道47号線となっています。



7 大門

大門は久米村の南門にあたります。古くは守礼門のような門があったとされ、現在は龍頭をイメージした小公園になっています。



8 西武門

西武門は久米村の北門にあたります。沖縄の言葉で北を「ニシ」と言い、「北門」という意味ですが「西」の字が当てられています。



9 下天妃宮跡

天妃は航海安全の女神です。王国時代、進貢船が中国へ渡航する際に、天妃宮の女神像を船に安置して航海安全を祈っていました。



10 上天妃宮跡

王国時代に建立された天妃宮の跡地です。現在は天妃小学校になっていますが、右門が残存し、那覇市指定史跡になっています。



11 天妃尋常高等小学校跡

天妃尋常高等小学校は明治22年にできた学校です。戦前の鉄筋コンクリート校舎が戦後の一時期、那覇市役所として使われました。



12 天使館跡

天使館は中国皇帝の使者(冊封使)の宿泊施設です。冊封使は世子(跡継ぎの王子)を新国王とする冊封の儀礼を首里城で行いました。



13 久米村発祥地記念碑

久米村発祥地記念碑は久米三十六姓の来琉600年を記念し平成4年に建立されました。船と久米村人の民がデザインされています。



14 忠盡堂・堂屋敷跡

忠盡堂は久米村の蔡氏一門の位牌を祀っていた堂です。また、堂の周りには一門の生活困窮者の住みとなる堂屋敷がありました。



15 堂小屋敷跡

堂小とは、東寿寺の俗称です。王国時代、久米村の生活困窮者が住む救済施設として堂小の近くに設けられたのが堂小屋敷です。



16 久米至聖廟(久米孔子廟)跡

1674年に創建された至聖廟の跡地です。戦争で焼失し、戦後に敷地の大半が道路となりました。現在は孔子像が建てられています。



17 袋中上人行化碑

袋中上人は磐城国出身の浄土宗の僧で、1603年に来琉、桂林寺を創建しました。その記念として1924年に碑が建立されました。



18 那覇尋常小学校跡

那覇尋常小学校は戦前まであった小学校です。明治期に那覇尋常高等小学校から分離したもので、後に上山国民学校となりました。



19 那覇尋常高等小学校跡

那覇尋常高等小学校は戦前まであった小学校です。明治19年に開校した那覇小学校が前身で、昭和19年の空襲で焼失しました。



20 雪之崎

雪之崎は岬の名称で、古くから拝みの場にもなっています。現在は埋立で周囲が陸地化し、岩礁の一部が若狭海浜公園内に残されています。



E 那覇市歴史博物館

「王朝文化と都市の歴史」をテーマに那覇の歴史を紹介する博物館です。県内で唯一、国宝に指定されている琉球国王ゆかりの宝物を所蔵しており、特に王冠や紅型衣裳は必見です。

